

令和3年12月21日

上田市長 土屋 陽一 様

上田市消防委員会
会長 宮島 武宏



上田市消防団の団員報酬、出動報酬及び団員定数に関する答申について

令和3年9月30日付け3消総第85号で諮問された「上田市消防団の団員報酬、出動報酬及び団員定数について」、下記のとおり答申します。

記

1 上田市消防団員の団員報酬の増額について

- (1) 消防団員の階級が団員の者の報酬を国が定める標準額に増額するとともに、国が定める標準額より低い額を支給している部長及び班長の階級にある者の報酬を、職責に応じた額に増額することが望ましい。
- (2) 国の標準額より高い報酬を支給している副分団長以上の階級にあるものについては、その額を据え置くことが望ましい。

部長	班長	団員
45,000円	40,000円	36,500円

2 上田市消防団員の出動報酬の創設について

- (1) 災害に係る出動報酬を創設することが望ましい。
- (2) 出動報酬の区分は、短時間の災害出動も多いことから、2時間未満、2時間以上4時間未満、及び4時間以上又は1日の3区分とすることが望ましい。

2時間未満	2時間以上4時間未満	4時間以上又は1日
2,000円	4,000円	8,000円

3 上田市消防団員の定数について

消防団に配備されている車両を最大限活用するための団員数や、管轄地域の実態を踏まえた団員の増減及び今後の団員増加のための施策等を鑑み、

- 1,850人とすることが望ましい。

4 団員確保策の附帯意見

- (1) 団員定数については、今後も地域の実情や少子高齢化等の動向を踏まえ、上田市消防団として必要な対応策を含め、継続して検討されたい。
- (2) 団員の負担軽減については、継続して検討されたい。
- (3) 団員確保については、行政、自治会、及び消防団が一体となって推進されたい。

ア 市民に、「自らの地域は自ら守る」という意識の啓蒙を推進されたい。

イ 地域の実情を踏まえ、機能別消防団員（大規模災害団員等）の導入に向けて制度化を検討されたい。

ウ 地域から、さらに理解されるとともに、幼少期の子供たちが消防団に興味を持ち、適齢層になったときには率先して入団してくれるような魅力ある消防団を目指していただきたい。

- (4) 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、自治会及び自主防災組織並びに住民自治組織等との役割分担についても協議するとともに、より一層の連携を図られたい。

上田市消防委員会委員名簿（委員は五十音順）

会 長	宮島 武宏	副会長	池田 桂子
委 員	上原 清志	委 員	上原 敏信
委 員	大森 正夫	委 員	荻原 敬一
委 員	清水 洋子	委 員	関谷 政彦
委 員	箱山 泰紀	委 員	廣川 千枝
委 員	堀内 希巳枝	委 員	堀内 健一郎
委 員	宮崎 莉乃	委 員	山寺 高太郎